

永田議員の12月一般質問から

こども達の教育環境は
このまままでよいのでしょ

この間、教育委員会が「小中学校施設整備構想」をまとめました。小中学校の施設老朽化が進んでおり、改善の具体化が急がれています。

一方で、ト



小中学校のトイレと エアコン改善は急務

田議員は「前倒しで改善すべき」と、町長に質問しま

やろうと思えばすぐにでも
います。教育環境改善は、

した。町長は「（整備構想と）切りはなすのは難しいが、どちらにしても早くやりたい」と、答弁しました。

町民の税金を蓄えた「基金」残高は60億円を超えて

具具体化は可能です。佐々町と日本の未来を担う、こども達への投資こそ最優先の課題ではないでしょうか。

か。

予測されます。12月議会で町長は負担増の分は「基金を活用できていか考へている」と答弁しました。

産であり、保険税引き下げにこそつかうべきではないでしょうか。

このままでは、佐々町国保の1億円を超える基金のほとんどが県単位化によって消えてしまう事になります。

べて1・5倍から2倍も高い国保税が県単位化によつてさらに引き上げられる、とは許されません。

高すぎる国保税

県単位化で佐々町には新たな負担が

原発に「デーエタ偽装材料」「伊方原発」運転差し止め判決

神戸製鋼・三菱マテリア
が示されています。

ルなどの検査データ偽装が問題となっていますが、原発の主要な部品にも同社の原発も160キロ圏内であり、同様に安全性は確保さ

が指摘されています。永田議員は、一般質問で製品が使用されていることについて、永田議員は、一般質問で

「いつまでも原発を容認しては本町の未来を燒かること」は、四国電力・伊方原発の運転で昨年秋には、広島高裁で

四国電力は、伊豆火災の過失を差し止めの判決がありましたが、結果的には、火災の発生時に未だ送電設備の工事が終らなかったことによって大きな不利益をもたらすのではないか。全国で

ここでは、原子力規制委員会の火山マニアルには自然エネルギーの開発を町が支援して産業の日玉ヒ

「阿蘇山の巨大噴火が起きる。そこへ問題こ残る。」

た場合、少しづつ流れが少口からなる。その問題は我々が、160キロの地点まで到達チャレンジしていく事を姑

する」との想定があり、伊方原発はその範囲内にあり、安全性が確保されたと
摘要、原発再稼働にはあらためて反対すると述べまし
けるのではないか。」と指

憲法改悪許さない・・・

安倍内閣は、今年中にも憲法9条の改悪を国会で発議しようと躍起になっています。北朝鮮問題を口実とした9条改憲は許されません。戦後73年間日本の平和を守ってきた憲法

安倍内閣は、今年中も憲法9条の改悪を会で発議しようと躍くなっています。北鮮問題を口実とした条改憲は許されませ。戦後73年間日本の和を守つてきた憲法をすすめましょう。

いまこそ9条を守る声を

法律はあとから付加えられた条文が、先するという原則とつています。9条3に自衛隊が明記されば、1項の「戦争放棄」も2項の「戦力不保持」「交戦権の否定」も記するというとんでもない内容です。

自衛権を「合憲」という安倍政権の下で、自衛隊員が海外の戦場に派遣される危険が現実のものとなります。こども達の未来に平和な国を残していくために、憲法9条を変えることは決してあってはならないことです。憲法9条を守る3000万署名を大きく広げましょう。

が指摘されています。 永田議員は、一般質問で
昨年秋には、広島高裁で
四国電力・伊方原発の運転
差し止めの判決がありまし
た。

ここでは、原子力規制委
員会の火山マニュアルに
「阿蘇山の巨大噴火が起き
た場合、火碎流が火口から
160キロの地点まで到達
する」との想定があり、伊
方原発はその範囲内にあ
り、安全性が確保されたと
はいえないという判決理由
は、自然エネルギーの開発を
続けることは本町の未来に
とって大きな不利益をもたら
すのではないか。全国で
は自然エネルギーの開発を
町が支援して産業の目玉と
する自治体も生まれてい
る。そうした問題に我々が
チャレンジしていく事を妨
げるのではないか」と指
摘、原発再稼働にはあらためて反対すると述べまし
た。